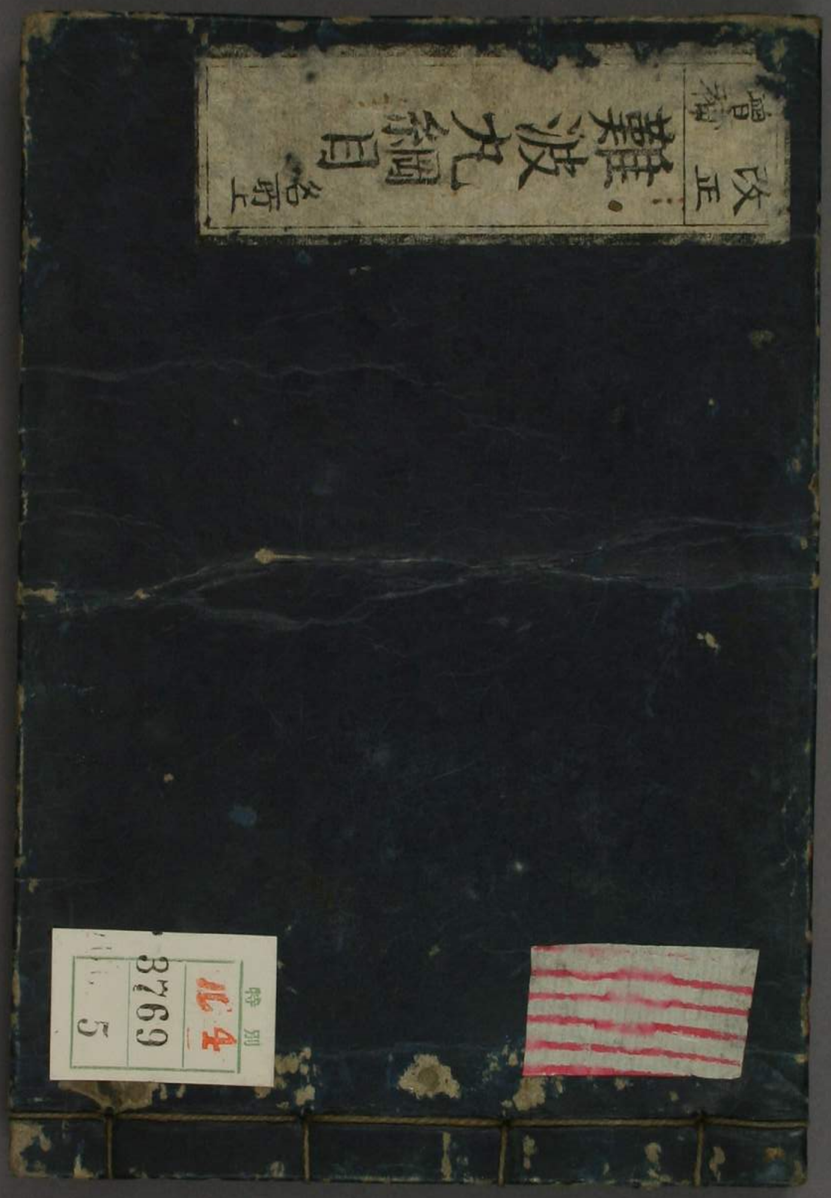
KODAK Color Control Patches ©The Tiffen Company, 2000
Blue Cyan Green Yellow Red Magenta White 3/Color Black
A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19



門ル4
3769
巻 5

早稲田大学
出納 25.11.17
購入 赤

月本國花分略集 奉條七之上

[illegible]

攝列難波九 同孫 下

元 十三郡神社佛閣名所數分 一分七二至ル

住吉郡

住吉社 鎮祇 祇
築港異決門 津寺寺
岸野より此下名所古跡數不尽并奇
長寛寺 平聖院 熊野擂鼓 同庄
金興寺 同庄 光源寺 同庄
三十歩の神 同庄 融通大師堂 同庄
東福寺 惠光寺 同庄 同前 古産 名物 名佛
七一分十六二月二至ル

東成郡

四天王寺 并桑古跡引奇
勝曼院 庚申堂

金剛寺　一心寺
新清水寺　融通大念仏寺
法明寺　安陪社　并鄙
松虫塚　弘法所古跡　并言
菜間山　并名水　國分寺
遍明院　安井天神
玉造稲荷　森明神
生玉社　比咩・猪名社

西成郡　十五ヶ所六十七至

高津社　今宮社
廣田宮　并古跡　船月宮天神明
并鶴見之池敷　月日宮
神明宮　三津八幡宮
稲荷社　そらう町　祇園社　三形屋
鹿摩宮　新御靈
天満　東照権現宮

男神海天神　小鄙天神
天満天神　荒原住吉
菅塚　大蓮寺
白髭町祇園　三津寺祇園
淨土寺　雪陰院
本光寺　茨田祇園
龍溪庵　竹林寺
大融寺　清原寺釈迦堂
紫禁寺　大願寺　長福
三宝寺　毋恩寺　并穂積
雑賀御坊　東本願寺　津村御坊　西本願寺
天満御堂　素盞嗚神社

川辺郡　世七ヶ所四十七ヶ所

奥村明神　平野明神
天王宮　吉倭公宮
若宮　岩屋山田法陽寺

多田院
大光寺 尼崎
仲山寺
蓮華寺
小屋流分 落不古流并奇
四十七分 六十四丁二歩

武庫郡

廣田社
西宮
琴浦明神
摩耶山全景寺
摩耶山如意輪
位蓮寺
鷲林寺
延平寺
紀音堂
武庫山 此分以下落不名流并奇

兎原郡

兎原住吉社
芦屋里 此分以下落不名流并奇

淨光寺
清流寺
護国寺
知上寺 華嚴丸石碑

慶耶山

矢田郡

五十九分 六十九丁一歩

生田社
縄生天神
福海寺
經塚東迎寺
勝福寺
川原太郎塚 此分名不古流古墳 源平古戦場流

長田社
須麻寺
禄祥寺
明要寺
福殿寺

名寺郡

七十分 八十二丁一歩

温泉 并名不四流並湯
接引坊
薬師堂
湯山接引
三福明神
邪悪寺
廉石明神
会仏寺
奥院
極楽寺
六地蔵
金剛寺
林淵寺
芦屋宮山
彩清寺
紫芝院
若福寺
天神
廉石寺
紫挑院
紫挑寺
紫挑院
永沢寺

永坂 見分れ下名不明流又指出返か
来る

橋上郡

上宮天神 祇峯山寺 間麗堂
金剛寺 橋香山伝法院 見分流名不明流
之外流る
六ケ寺

八十二分八十六ヶ所

八十六分八十八ヶ所

橋下郡

惣持寺 伝井寺 見分流名不明流

八十八分九十三ヶ所

笠橋郡

吳服之綾服 勝尾寺 笠面寺
久安寺 大廣寺 凡の部山 見分流名不

九十三分九十五ヶ所

能勢郡

拝宮 月峯寺
並月峯山 笑路神 見分名不古流
路月女石塔

當國外流寺社名所 指出返考

九十四 九十五

幸中郡

九十五分九十八ヶ所

流宗宗寺付

彫改寺付並不付
九十九分終ヶ所

▲住吉郡神社佛閣名所

摂津國住吉郡
社領弐千百石六石
清寺共郡内浦
南之坊裏之

住吉社

社勢
別當

所謂

▲祭神 四座 底筒男 中筒男 表筒男 神功皇后

▲日本紀曰伊奘諾尊至筑紫日向小戸橘之檍原而被除焉 沉海底時所生神号云底津綿津見命 次海中時所生神号云中津綿津見命 次海面時所生神号云表筒男命 上三柱以生神号云表筒男命 住吉之大神

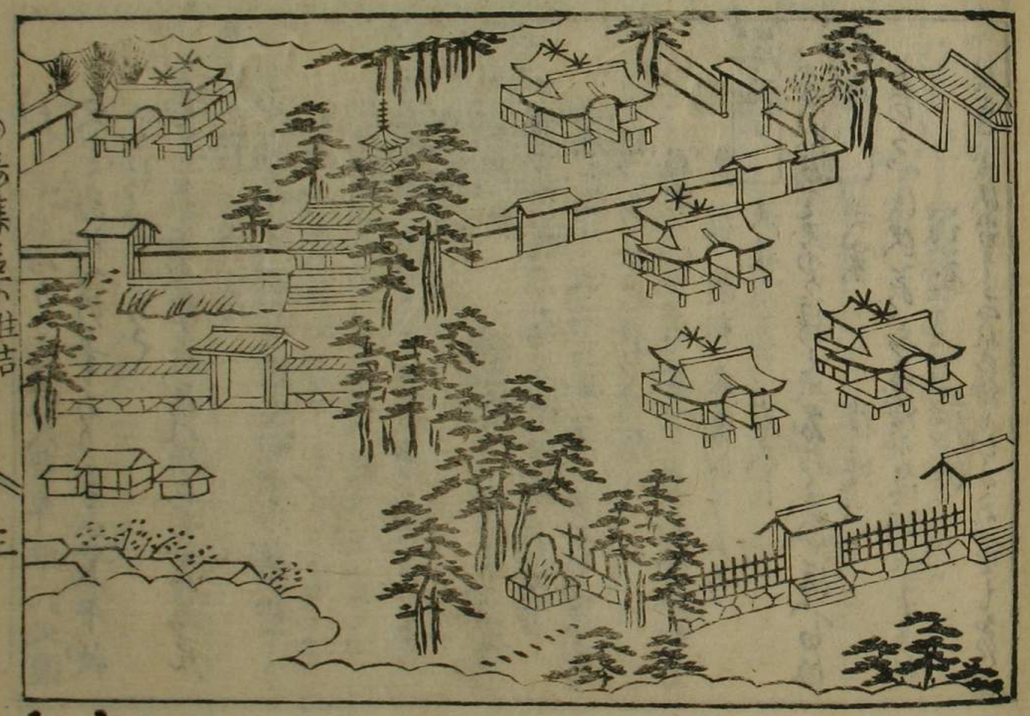
▲神功皇后 人王十四代仲哀天皇之后 日本紀 皇后氏彦坐之時年二月又表筒男中筒男底筒男三神編云吾和魂宜居天津淳中央之長柱因着住焉 於是授神教以活国 於是授神教以活国 唐蒙 住吉田記云其荒魂在此宮之小戸和魂荒太神功皇后紀三韓時形坐揚列 魂皇后紀而備行日方遥列揚列

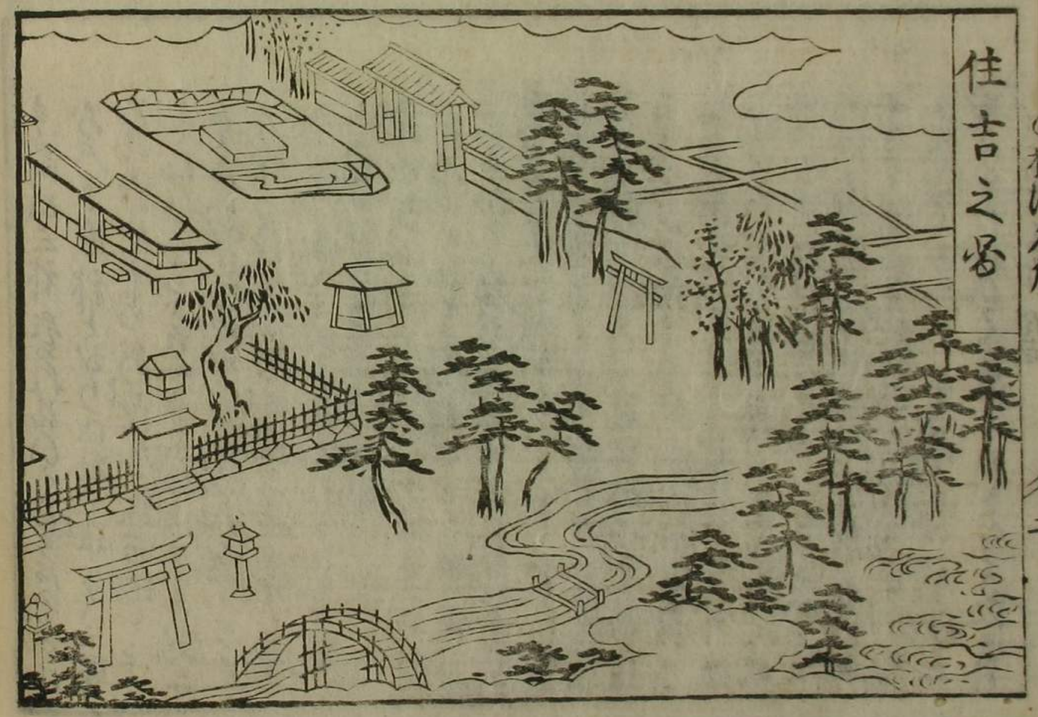
宣云云真住吉真住吉ゝ國史因縁産
ゝ記名云住吉

▲世傳ゝ神ゝ俗宣曰　吾元神　以ゝ正
為神　吾元德以為德　吾元
智恵以忠孝為智恵　吾元奇特
以長寿為奇特　吾元惟宣ゝ
或ゝ為社ゝ不明神ゝ

第一　天照大神
第二　宮殿　住吉神
第三（表筒中筒底筒）産　第四　神功皇后

▲此住神の御日記延喜式神名帳ゝ
見ゝれゝ今文ゝ有ゝ
樊渠ゝ為ゝ住吉ゝ
命ゝ
目向国ゝ戸ゝ橘ゝ檍原ゝ
一ゝ時ゝ
三神ゝ
ゝ底筒男命ゝ
ゝ中筒男命ゝ
ゝ表筒男命ゝ
ゝ住吉ゝ
ゝ住吉ゝ
ゝ住吉





[illegible]

天皇南社へ行幸ありて五系業平歌
を仕へまつらく
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

▲攝社

神主

▲櫻戸社　櫻田前　津守氏之祖神之
住吉山　桜田穂　五月六日
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

細江　ふ首

住吉の細江清あるいまの世の芦乃あるふるの月乃
ある所

浅沢小野

住吉の浅沢あの絶くふ岸の田代荷ふるり
又絶を三日住吉乃塩干ゆかれど氏浦
乃瞰らをみるてるあり　氏日の鹿あのあさ
て川乃かりふ遠遥　とろりとろべあに
のりく拾びとゆすも塩竈を減とろ謂ふと
とと己の月の彼とろり　歌枕
庵人の松と浦を東ふ云ふふ松を花夢せを
住吉乃浅沢小野とあり　春日
家名　杜鵑　藤　笹　ささき　女郎花
さされあ　浪　春日

浅澤沼

浅沢小野ハ住よ乃浅沢沼と接り
春和ハ　若菜　根芹　杜鵑　郭公
花乃ゆ　みとり　忘れ　わさとあり　ふも
さされ　沢　建　春和ふ

たか遠江

氏不吉紀ふ春ふ乃ゆ
稀すとをり後指を春を政ふ
万代と花ゆ中りを行つ　氏所ハ住吉乃塩干
氏所ハ住吉乃塩干ふ絶ふ　ふふふふふふ

こと満れくふと雑喉乃袖中抄小野
あへど名書の多ゆ中あれば氏乃名多
中古乃孫を氏を失面ふ乃
住吉乃孫を氏を失面ふ乃

朴津

住吉乃孫を氏を失面ふ乃

遠里小野

住吉乃孫を氏を失面ふ乃
氏不吉ふ満中く　遠を氏ふ乃
を中孫を多絶ふ　住吉の神乃灯明乃池
氏不吉ハ氏里ふ乃ふ　氏不孫を氏ふ乃
住吉乃を里ふ乃池　氏小野
右い乃を住ふ小野　氏小野
里大ふふを氏出せり　住吉乃を里小野
池の中乃を里小野と接り　又ふを
ふ乃ふふり　春和　子日　梅　桜ふり
ふふび　ふを　春和　子日　梅　桜ふり
松虫　鹿　蛙　落　月

左を里小野沢

夫　皮露や沢乃芦を
浅沢
出居乃池
浅香乃浦
かり浅乃浦　住吉乃浅沢　歌枕
小野左ふふ　長文庫
春和　沼ふふ
春和　浦小出せり　日
住吉乃浅沢乃浦　玉も
歌枕　春人　ふを

住吉乃松原

住吉乃浜

住吉乃浦

住吉乃里

住吉乃岸野

住吉乃浜松乃岸

住吉乃沖

住吉乃田

住吉社 住吉田辺橋荷 住吉郡

住吉神宮

角乃松原九町

[illegible]

[illegible]

[illegible]

▲同所平聖皇后ゟ社名不

王舎山長寿寺

開山ハ坂上将軍田村丸乃ゆ姫ゝ植武
帝ノ乃ゆ寵妃ゝ
宿御乃後ゝ
大師と申さり
母后ハ皇太后
良魅公乃ゆし
太后後東
三代乃天ゝ
同帝乃皇后
田村堂　将軍乃本
鎮ゝ
坂上家
野仏と称す
日七番乃ゆ者
観寺　矢拭太神
悟頭　阿弥陀院　正林庵
熊野権現

牛乃天王　広円社四三
平聖氏ゝ
主楽寺　広円寺四
田村丸ゝ
ゆ祝表熊野三所乃ゆ

天満宮　多奈川
社僧　別当　東坊　西光院　大門坊　池坊　中坊
室寿院　弥宮寺　前坊
北坊　西坊　乾坊　南坊

及掛松　泥堂ゝ
熊野権現ゆ新向の
全興寺　野堂町古　本尊薬師　蝋薬師秘仏
光源寺　仏者ゝ流　北月戸口町　白徳院殿様依頼
三十歩大明神　野堂町　住吉ゝ
敷通大会弘寺　東成郡ゝ
大源山弘仏　寺号　本尊ゝ
恵光寺御堂　泥堂町　東本願寺門徒　但西本願寺良如上人ゆ
安藤　治右衛門　墓所　元和元年五月七日歩死
樋尻口ゝ有

平聖后ゝ
大坂ゆ
倉乃弘所
▲産し業　奥野氏
▲名酒　三好修理大夫　織田信長公ゆ先有ゝ
▲桜物師　利休代ゝ
▲名物　太閤ゆ先
▲絵　羽氏　青順　墨判
▲絹　奥野宗順　朱判
▲絹　絹乃先

△東成郡（ヒガシナリノコホリ）（又住）

荒陵山四天王寺（クワウリヤウサン）

天台宗
寺領千百七拾七石
秋野坊　並　家来

一　金剛法下
二　金剛法下　並　楽人五

外二十二坊

当寺乃来歴ハ元ヲ世ホ三ツ不審人皇三十三代用明天皇乃御建立なりされハ仏法乃通乃ハ為也度ヲ良とし給ふ二度まゐり給ふ二度まゐり給ふ

陽明門ハ聖徳太子乃御作乃図ハ本ゆく多図ハ国懐ヲ感ハ庚月乃日天皇ハ仏像と他ヲ出ハ製乃中ハ太子ハ二尊ヲ生ヲ三ツ一ツハ観音と称ハ弁財天と称ハ毘沙門ハ天王ハ三尊ハ日輪ハ月輪ハ星乃ごとく拾ヲ形ヲ三ツ乃ごとく拾ヲ形ヲ

上ハ四天王ハ造作乃像ヲ安置ハ

ヲ後推古天皇ハ元年ハ聖徳太子ハ摂政ハ

ハ乃ごとく

ハ雖波羅蜜ハ

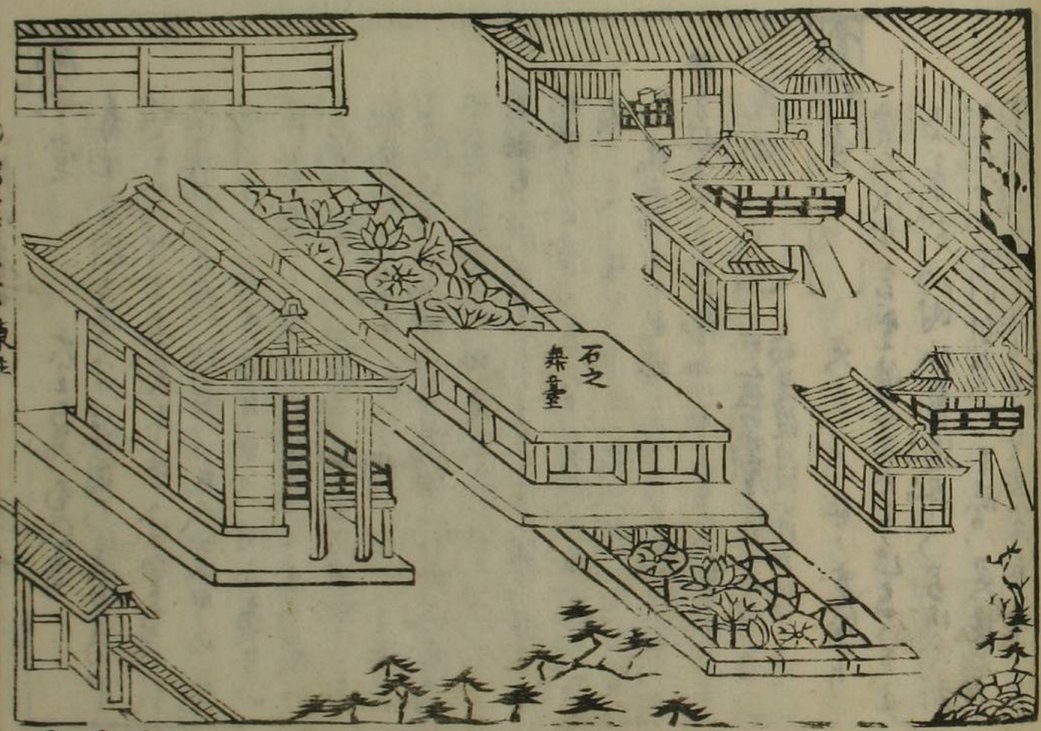
ハ乃ごとく

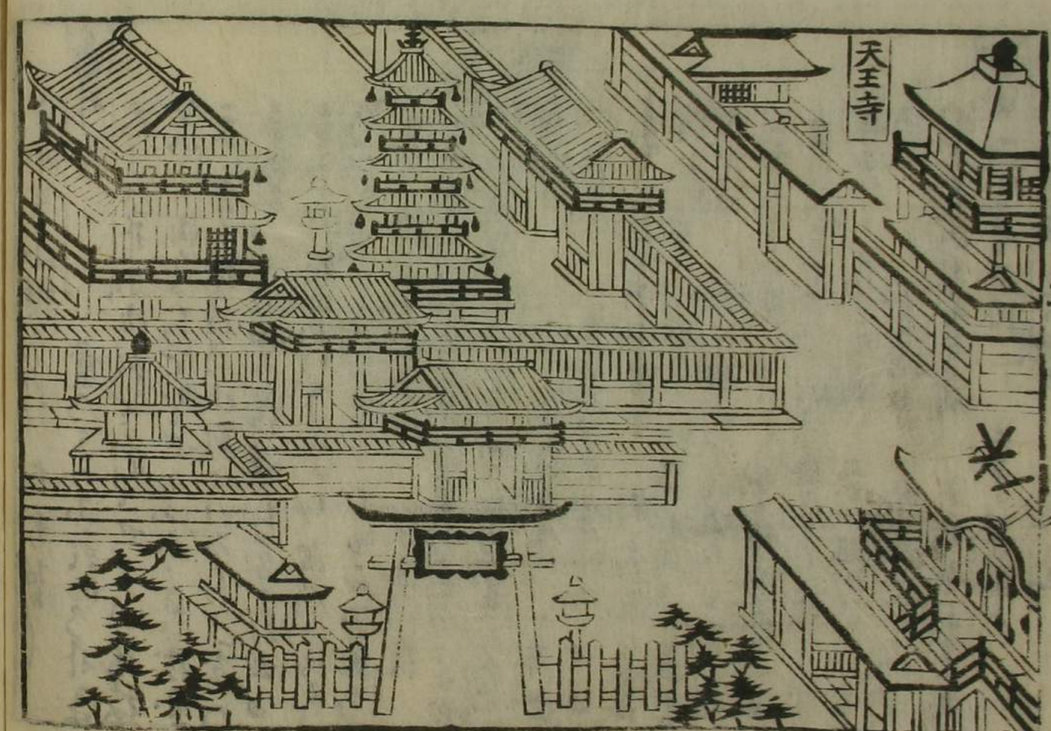
ハ雖波羅蜜ハ

ハ乃ごとく

ハ雖波羅蜜

三宝荒神　天王
ほんぜの雲　[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]
寛信　[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]


石之
桑臺


天王寺

庚申堂

天王寺の南にあり

青面金剛と号す法興院の庚申の本尊
流れたり流し大炎年中ふ天王寺の庚申の年
俗民諸々信仰者と云人庚申の日申の時ふ南りい
四月七日庚申の日申の時ふ南りい
ぶくたぶく寺ふ参ふ一人忽後と寄り祈ハ
これ寄祈天の仏の仏寄り月城ふ如のとく寄
西金剛の名号あるゆとふ寄ず天王
ち民仏法元初の仏法流拾
の寺ふ庚申の秘密を伝授とべしとく
刹秘文ふ伝けるつ人ふ毛灵験の祈れて
仏教とを名寄りたまのうい禁忌ふ祈戒のゆ
為しうく伝とうしてく敬ハ宿を迎ハ
て仏教とこて七福とまどうとうの
神ふ仏法ふ方ふ仏法ふ

四天王寺

四天王寺聖徳太子墓ふ石碑ふ
拾曼陀の流れ方ふ中ふ

天王寺の駅ノ方にあり

合利寺

雲の山寺ふ当聖徳太子ふ
ち寺刹の時仏慈遍年の号ふ合利
と山ふふあり中ふ慈慶でん
中ふ慈慶でん

英樂山陽元禅師開く本尊ふ高
ふ寺ふ伝行ノ絵ふ灵験とつ三慶ハ
仏と祇園とノ
禅宗と寄れり 古ハ和泉ふ
寺ふ寄ふ名利と聖ふ七福者し
天王寺の西門前の南ノ
法華院一心寺と号と法華宗
院の寺ふ
文治元年後白川法皇と法法上ハ
相親を修ノ
寺ふ新別ふ
寺ふ寄の西の小堂ふ上ハ
六字名号を
仏ふ法と云ふ外ふ
今ふ法ふ
ふれ仏と人ふ
とふ仏ふ
天王寺中
墨書年中
墨書ふ
墨書院年末ふ

一聖徳太子御新　一幅
一中将姫直筆ゝ法華経　并繼ゝ歌　一巻
　日称讃浮土経　一巻
一法然上人一紙三行ゝ六字名号　一幅
本雲　不動会弘法新雲　阿弥陀堂
廿五ゝ菩薩雲　東門ゝ阿弥陀　背堂
猪熊雲

墓墳

三光院　岩誉良玄居士　塔　本田出雲守忠朝
元和元年五月七日戦死　并家臣　殉死ノ
数輩石塔有之

新清水寺

山号南栖川　天王寺西　安井の郷
乃遠近なる千手観音　聖徳太子の作
清水寺の別院ふおりしなせり　夫像
とも伝ふ　安置せるこゝ　山ふ水流
ゆ川　異海門天乃雲　御堂乃脇壁ふ彩一ぱる
きーます　清水寺ゆ　号せり　山家基ゝ西
とも新清水ゝ　面ふ　海乃波　来西ふ絵ゝ乃
御風ゆ　清浄の智ふ　恵乃堀

大念佛寺

平野ゝ西　行基　弁ゝ
或ハ東成郡ゝ
平野中勢ゝ庵　大和国下郡ゝ　然ゝ
大和国下郡ゝ　播州ゝ　平野
紀ゝ　播州ゝ　ゆ
紀ゝ　播州ゝ　ゆ
とゝ　播州ゝ　ゆ
紀ゝ　播州ゝ　ゆ
播州ゝ　ゆ
播州ゝ　ゆ

法明寺　源江村にあり

融通大念仏宗中興開基法明上人
いにしへ永享年間に住せり俗姓は源氏
男山八幡大菩薩の神託を蒙り祈願して
人方もこれを信ずること
求南社の祠堂に居住上人乃ち
[illegible]
乃竜像又相伝の法
和尚と号し[illegible]
[illegible]
[illegible]

そもそも小町の名を世にとどめしは
双紙の名い奥列の玉造りみく
清水の名乃名い東列の玉造りみく
奇ふしちのく乃玉造り小町の
よみるも小町の国乃名所を
経塚　一町り国乃名所を
　　一石一字乃経を埋紀
　　うせて塚あり
護摩塚　護列乃武士此所ゆく
　　討死せしあるべし
大石塚　真列乃国司北畠係
　　中納言那奈御の塚なり田野の中に
　　墓のかたち繁き砂にて古へ人の大名
　　塚とせしなり享保元年　去る人
　　新よみ新石を建て石碑をえらく
　　北畠添顯家墓と作しゆふ人
　　なんぞと知るまきの文より来るの方一
　　所案ずるべきなり

出塚文　此里乃民神ゆく記
　　代まくも山絵あどろてゆし
　　さ多れ乳あり　りが時代ろりくまるう
　　絵けるれとあり

紀伊清水　矢ヶ崎乃西門さら乃和坂
　　乃ぬりく一心ち此小乃かさらく　此清水
　　天ヶ崎乃三乃乃つりとり結りそ
　　二い墓并　御伽井とそり此清水乃水
　　三伏乃早魃ふの世ふりてもかくるの和
　　此乃乃りとりふりふれば絶ふ亜乃
　　精気ふさきくこと和ふりそ流れ
　　涼減もあく頃此和ふ見あまり氏
　　そこ乃里こりてこりてこりて氏
　　用のさ後うく山　乃ぬりくるもひもび泉
　　乃よさへもでるしくりろりまる奇ふ玉
　　ちこてもでくりろりまる奇ふ玉
　　おの乃ふもよりあり　後接き　茅大政天皇
　　泉のみ和此ふそ後び歌の表ふりし
　　柳　新ちて秋　別清水乃和
　　文祇

茅原山　茅仁徳天皇御治世八十七
　　年去正月ふ清水年百十歳ゆく終れ
　　絶ふ清原いもでめもそのあ十月此ふ
　　ふ清後とこ別りんとこ一ふ乃和ゆよ
　　ゆ泉別場より絶氏方沢乃りく此秋
　　名野とのふ和ふ蔭ふ乃りそ今ふ
　　そ清之後教平ちてまり向すれいの

ふるれとり嶽陵と云なるべく天王寺の
山号を嶽陵山と云るも此ふに属くの
名なり仁徳帝乃此廟の大坂難波乃
地なりしを清文又今乃懶惰町辛
聖大明神なり世ふ稲荷と称す
らく神社氏録に摂津国乃山乃もとに鎮座す山
崎乃社なり山乃もとに鎮座ふ小社ふりく
某阿弥すく仏くれば云く世伝ふく某
阿山と云ひ伝へり又元和年中ふれと殺
乃此附茶も征夷大将軍氏山領ふ御
宮体とす也孤ひ此武運ふく此坂
陣乃節此義命あるく勝山と名付
後ふくれとり今ふ氏名ひ吸ふ
天王寺　聖武天皇ふれ出れ
開基　間宗種金乃像
四分寺
河内乃国分寺なり　聖武天皇ふれ出れ
此ふ当十一面観音乃像
開基　沙基菩薩也　又天暦ふ良ふ
ありく国分寺なるべく也里を国分寺
村と云さんべ天皇乃此ふ天平年中
ふ日ふ国中一宮ふ一ち城此建立ふく
為ち国分寺ふ号す同十一年ふい法ふ
ふ国分尼寺と云ふくれば一国ふ四寺

遍照院
東ふ寺ふ乃聖中ふ
なれ弘ど也ひくなる向ふ
十一面観音并不動明王ふく中ふ
此出六寸三分ふ和列出ふれ観音ふ
同木同仏ふく古へ聖徳太子来ふ清ふ拝
会　ひ一ちなる日向玉天満ふ
ゆへありく近江玉三井ち脇堂の美
仏さらと此乃此ふ
めるとく又ふ堂ふ
仁徳帝乃天并天神八幡稲荷氏
三社まうます

安井天神
天満乃上ふ乃
乃清ふ乃上ふ乃り　祭神一座菅神
社記不詳考　菅屋一条ふ祭八月廿日
玉造稲荷
摂列玉作り乃号ふあり
祭神　社記未考
稲荷明神　勅請ふく
名寄
仏家名祖乃号玉作教乃方ふ扶で出ふ

但名残居ハ仮寄乃条ありしのて右ハ山
寄と出り扨又山不を東山ともり

森の神

祭神　用明天皇ところ〻　玉依り乃命
御子ハ山く用光と燒矢を放ハ之時ハ
拷引東生給大坂ハ巳午
天王ハ勝乃小西なり　神主　松下采女

社領二百石

別當　南坊　真言

生玉社

天生玉神　亦名玉命
新田殿直造

▲所祭神一座
▲天孫降臨時落給神也
祖也　旧事記　▲社家注進記云天孫降〻
拝ハ高降給し時落給二十二神〻中天活
玉命是之神武天皇戊午年三月川
神役御代　羽束神　云干　家云ハ意年
中　人王百五代後土御門治天将軍　ハ孫ち俺ハ
所　足利十代義尚逝去ノ後
神悪不潔罪給　俗ハ迎干時燒神殿を
怒し宿禰而今　神主　最不吉勝先
辞也　教目後　社家　床逐奉　迎奉神
殿を後鐵四伝ハ　兵難　野火之謂之日殿閣
玉乃灰燒殘　神委　迎　別所　耳度也

年中　当陛秀吉　築　諏訪　之　席　迎入神
北　八月のまり片羽市ハ且えとやなり
▲御位貞観元年　四月廿七日　姫五位下
右ハ紀ハ明ハ　ハ天孫降〻
拝ハ天上ハ　ハ神ハ天孫降〻
付一三十二神のうち天乃命　ハ新田部
真乃命　神武天皇戊午年去
二月　熊野乃国ハ　神武天皇戊午年去
ちとなり又ハ　ハ大巳貴
大和国三輪山ハ　ハ大巳貴
ハ岩ハ　ハ天陶祇乃女活玉依姫
りもそ　ハ　ハ乃ちと
ハ

比咩　須勢社

祭神一座　下照姫命　列東生部　大巳貴命の
ハ子なり　ハ神と出雲神　ハ乃神　ハ和
奇乃祖神　ハ天雅　命乃妻ハ
又ハ　ハ　ハ
当里産霊　ハ天雅　ハ天麻呂
及び天孫　ハ矢ハ　ハ
ハ下ハ　ハ
下照姫　ハ

みとれりとぞ　てまめあるざりしゆへ
天ちのうのひく天庶児弓月君と矢
をうりく山命と射ものは天稚彦矢中帰
ものく立おかすこと素戔嗚尊の所為なり
びくかるしむ素戔嗚尊
紀乃国なり　○又雑賀名所図会或説
とりく壹仁者乃住摂津国我師種
斯と云人京富加羅国石多ちめ乙女
あるひかるの石多ちめ乙女
と紀一日出雑賀のうらく比売語
雑賀神宮　紀りしと云られたさど
うあるのゆへなるく雑賀のうさぎ

△西成郡神社佛閣名所

多津社（攝生）

摂列西生郡生玉社
条神　仁徳天皇ゝゝ
此社神ハ比咩神宿ものと雖
ひるすくれとるくざるひや比咩語ものの神
社ハ別ものの神伝をるるせり今これ不協
ものの津文吉ハ境内六町宮方ものく仁
徳帝皇居乃地なりしとそり
支本　若ふるものの津文吉ハ境内六町宮方ものく仁徳帝皇居乃地なりしとそり

今宮恵比須

安倍晴明乃小祠あり
蛭児　天照大神
正月十日　貴船式社

一所祭神三座
赤竜　竜王
小祠　倍小十月
此社ふるものく住人乃奉ありて神輿成
天王ものの西門ものの迎番　ものるし又
門乃ものの恒例しくりるや源陽乃
祇園会月乃此神ものの
神輿ものるる仮小ものるし祇小中流ものるし
人

廣田神

ものの道小ものり　伝赤竜　此ものの言葉

堅牢地

神　恵星成ものるし

龍川

右社乾小ものり　これ此
右乃文乃ものるしものるし
川なり古ハ天ものる造美乃所祇永二月
乃ものて川ものり

朝月宮（逢坂）

摂列西生郡坂町山
裏乃町ものる　祭神　天照皇太神
四記云後鳥羽文治元年二月十八日義
経為平家追討被命時義経与梶原

[illegible]時[illegible]逆櫛論[illegible]日屋[illegible]運[illegible]式所[illegible]
[illegible]勅[illegible]神[illegible]

月読宮

[illegible]社[illegible]

月月宮

[illegible]社[illegible]

神明宮

祭神　天照大神

[illegible]日大明神

[illegible]宮勅[illegible]

[illegible]社[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

なりと云伝へるハ此祭り祭九月廿七日又六
月十七日小夏祭ハ吉乃ハ後住と為せるより此祭ハ常小繁昌
吉乃ハ後住と為せるより此祭ハ常小繁昌
まして来て来給乃給ざるを解社小都
ハ社小多しびて来て方小系師雲ノ
弘法大師一刀三礼乃ハ此なるなり

天満

紐天満宮ニケ所なり大川乃小と九テ
天満と云わ東西南北ひろく宮ハ
福徳彩地小つくこと無昌大坂のごと
ち社武都とくく座門とそなへ
富都多しひ小都

大阪三郷と云い西紐小

大阪四橋宮

天満小くこ天満橋とし
小多くこ町小天満宮
富ハ社ハ元和二年丙辰小松平下総
京忠建ハ一ハ岡山ハ三河和尚なり
紐祭天満紙九品陵とまりされば祭
威とわのざ
天代乃姫と多小と祭ハ常ニ今乃青祭を知ん
ハ祭日四月十七日乃れば老紙解と多

多祭 天祭

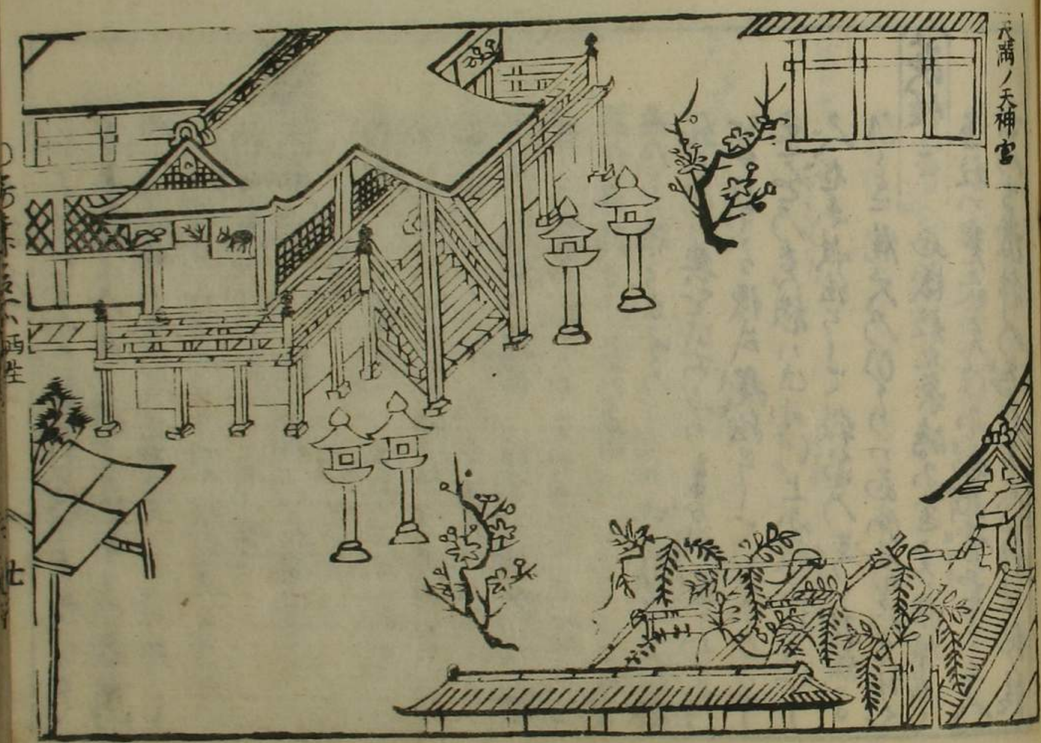
多根流ハ大坂天満乃方ニ

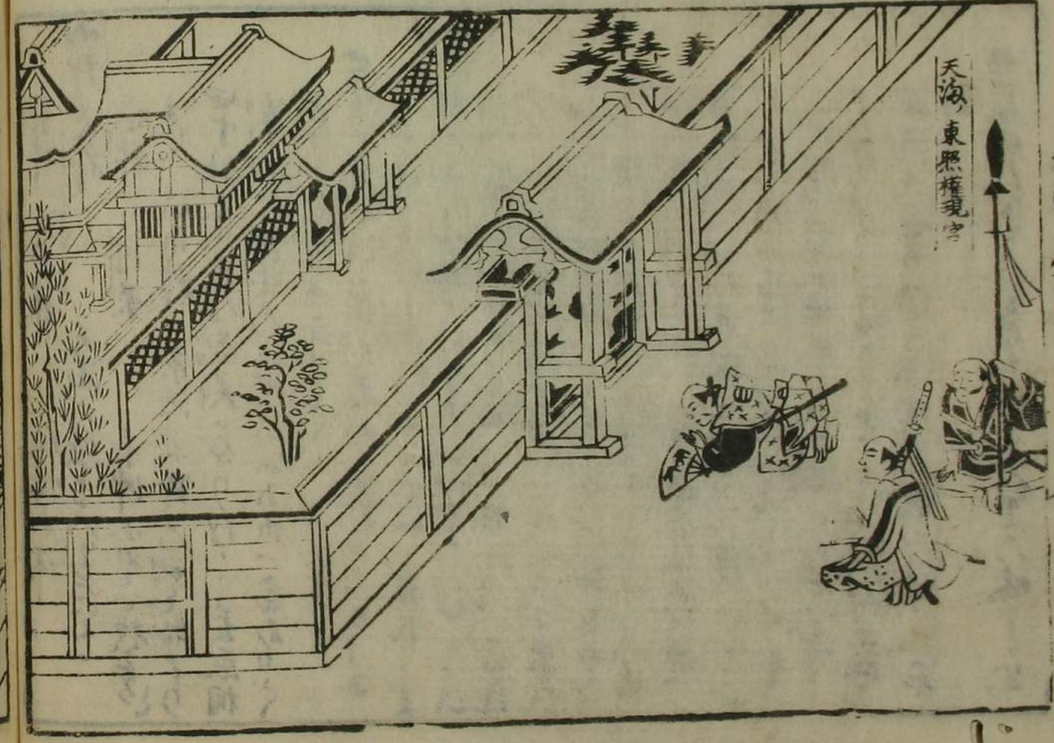
祭祭　賞祭　社記未詳

小野天祭

祭祭　月前　天満大鼓ち乃名代ニ

ニ　心ハ祭ハ系師小野と称ち
四十餘年振乃満天ニ
寧都へ左迁乃ハ時小系小ハ一宿ありく
御しさ乃ハ前ニ
世迎て乃ハ記を渡ハ乃ハ
かるハ乃ハ乃ハ
漢乃小松を撰ハ
不小一枝小松を
ハちく大鼓ち乃
仮乃霊院ハ
又大鼓ち乃
鼓大夏弘仁年中
開那代乃
乃渡ハ
有ハち乃菱恵相
ト祭ハ
小ち
ちく
ハ社別れ


八幡ノ天神宮


天滝、東照權現宮

[illegible]

天満天神宮

神主

祭神　菅神

村上天皇の御宇天暦年中の御創なり　社記・書考　祭六月廿五日　俗に天満の祓除と称す　神輿車・楽[illegible]

同市場所　[illegible]

[illegible]

茨住吉

[illegible]

大蓮寺

[illegible]

曽根

[illegible]

佛金剛
法吉祥

多田満中ー始金ーの金剛也
天照皇祖神 毎年天 天満宮

白髭町 観音堂

大福院と号す
此寺号十一面観音 仏又毘日観也
寛永年中乃建立 開基 沙門 延命
称此所号の町ー 敏山乃別院
観音堂 元亨三沙門 如蓮
観音堂 元亨三沙門 如蓮
観音堂 元亨三沙門 如蓮

横穴

かくう奥院一心ち紙出くはちるにあり
夏来乃国紙ゐ
▲本雲乃本寺を長書出来（ゆたか二尺八寸）
藤元大師乃紙なり　ありしと有宗世三養不
永和尚文六乃紙ゐ　絵と脇刻ちく右
乃本寺ゐ内作師ゐ
▲業師雲業師出来　仏三月紙し
之外奥奥数多あり　紙とにふ道

当僧院

此本寺地蔵菩薩（ゆたか二尺八寸）長覚
大師乃紙し仏寺乃
観林村ゐ切り　久ると　迷落年中三浦
陽軍記　観音　市原
ゐちてゐ人ちく　はちに安亜せ　む
紙に地蔵乃奥絵　ちてかくに
中ゐも永仁年中小頭倉ちくの里
ゐ墓　神ちまとく　ちの切ちくへ
下人男女ゐまこと　ちのちる中ゐ
ちく観音ゐ　ちく　ちやこ　ち下女一人
ちてゐ　ちく人　浅世とんぐ　墓
ちこうず　家ゐ　ちる安　ちと下　耕人乃

地蔵菩薩ちちく毎月　ちひけちやく
地蔵菩薩ゐ立　ちり　会乃　紙尾　ちとり
見いる人のくゐ見い耕人の　ゐ見い又
ちちのくゐちく毎日地蔵ゐ紙
ちちゐ　時　信軍　会　ちく　ちく
ゐちく　ちれい　神ちまと
とちちし地蔵菩薩　ちと下女ちく　紙
ちと　ちれゐちく　ゐ　ちと　ちと　時
ちと　ちれ　ちく　ちく　ちく　ちく
ちてちく　ちて　ちと下女　ちく
女ちと　ちく　ちく　ちく　ちく
ちと　地蔵菩薩　ちく　ちれば
神ちまと　ちと　ちく　ちく　ちく
ちと　ちれい　ちく　ちく　ちく
ちく　ちく　ちく　ちく　ちく
ちと　ちと　ちと　ちと　ちと
下女　ちと　ちと　ちと　ちと
ちちく　ちと　ちと　ちと　ちと
ちと　ちと　ちと　ちと　ちと
ちと　ちと　ちと　ちと　ちと
ちと

安堂と伝称のごとくかりけり
世俗の伝へて頻蠅の地獄とかなり

本願寺　日蓮宗

真如山本願寺と号し開基定専院
日寺大徳　生国は加賀金沢の産
武田信濃守の末裔武田孫四郎
乃二男蓮右衛門　号善兵衛
成弟創と第二世
善兵衛日幸　名称なり　多祖上人乃
ちなみなぞ　法名の
大坂三年三月の札所　第十六番目

薬師如来

薬師乃名所の別ふ

龍渓孫仲庵

法孫仲　妙心寺
ゆ　黄檗山
富田善門
三段　東武ふ
基　一年西海乃法
法孫仲

大酒ふひとり一対乃
酒ふ酒れく遷化しふ

竹林寺

三十年和尚不清
今晨與氣向人供
目　我渓法子此後偈以決を欲
多見遷云庵驅尽消
吟汐　丁号金実主
僧　壌嶋三有
法ちい寺乃背雲寺
ふ号河弥陀　恵心作
大樹乃汐命ふ
刈　僧壌嶋と名づく
ゆ　会仏乃陸仏ちい
と　元弟子乃
ど　乃僧達主乃
居士乃美花ふ
山号西院と号し
僧　僧壌嶋と
ちり和渓乃
一年病ふ
林乃主義一

香西肯雲老人後ニ疾ヲ発シテ歿ス東武ニ
江府ニ余閑ニ乗ジテ補ヲ新ニ不動堂ヲ建テ
代ニ薙髪ニ以吊魂十如禅師ヲ
四維山ニ礼
瞿摩此ニ承元拔群 治長賀復毎年勅
然心深狭士殿雪 変化天京月蓋寺
又ち月ハ雅汲津乃ひ〜とゝひやり一なり乃
梅と極ひ紀を花さゝり多りくれば一枝とよ
ひく爲九光庚ひく多りけるとく
義信乃乃ひ名ち紀多れ雅汲津の梅
ひく
ひく乃ゝ乃ゝ乃ゝ

河内國玉手所[illegible]社人乃[illegible][illegible]なり後
[illegible]乃奥和希代乃奇[illegible]
[illegible]乃[illegible]

宗孫ち

[illegible]る十一面観音　聖徳太子作　開基
徳叟和尚　摂主細川たち持寄也　普光
院殿乃位牌乃[illegible]乃[illegible]
[illegible]乃[illegible]乃[illegible]乃[illegible]
[illegible]

一　涅槃像　一幅　東龍眠筆
[illegible]乃[illegible]乃[illegible]

大孫ち

孤雲山人孫ちと号す　祖父天皇乃[illegible]
[illegible]乃孫[illegible]　[illegible]
[illegible]　[illegible]
[illegible]
[illegible]

うちあげしく
ぬいで又いま稲の株往雖ども
走これとゆ無ゆ
物今ふとそと維ま暖とえ式般ふ
ムしく山畠ふ往くこ
いふ見ゆとそく又ふ
往くそとずく
とゆく地蔵がえ
安堂せしめ
おふ胡蝶自
長稲ふ往くて今
時地蔵がえ
伎乃多ふ地蔵

三宝寺

当ちハ大日とゆ
式大日とゆせ
ゆりしゆ
せしとえ
や古へ
乃先生民賢
又儀ふ
ゆ

えとえ無ゆ
母聚寺　并稲城

式ふ
坂白川法里市
多尼ちゆ
ぬえ城と
兵庫以牧改
えりか
式ふ乃
とく坂人ぬえ城

沢上村ニ在

難波御坊

市岡山上人初
宗徒乃市利
織冠乃坂流
市子たり
宗乃生源
乃徳沙
見ゆ
乗山院文永九年
光伝尾市又上
大谷ふ

市岡山上人初めより未代ふ
宗徒乃市利豊日
織冠乃坂流
市子たり志学
宗乃生源
乃徳沙
見ゆ
乗山院文永九年
光伝尾市又上
大谷ふ

ふかく教ちゑ御堂南建
小久宝町かふ久宝ち町ニ流
弘通
及ばず世氏家ふ大
乃大を有紀乃
教盛乃勅号慈法方
法流乃慈勅海度ニ流
ちゑたと崇ちゑ
ふ御堂乃芸業ハ
市乃ふ
上人乃市乗女
遷化乃後十一年ニ
建立しえ

叡山院八十九代伏見院五十代に成る帝より
勅願寺乃宣旨賜ふ故に山科郡
赤塩村小あり此所叡山乃法を学び
と後堂を建て
宮乃例小倣と云ふ故に
此所小於く法流日々小さんこ所小殿田
伝也と成地を
小撰しを地と
京師小於くも
抑大岩乃張
基院乃中宗
乃下小
寺乃山也
料乃四趾
乃横墓
此地小
雖波し
八十二歳
大坂石山
也三年乃
此本寺
此坂乃

▲

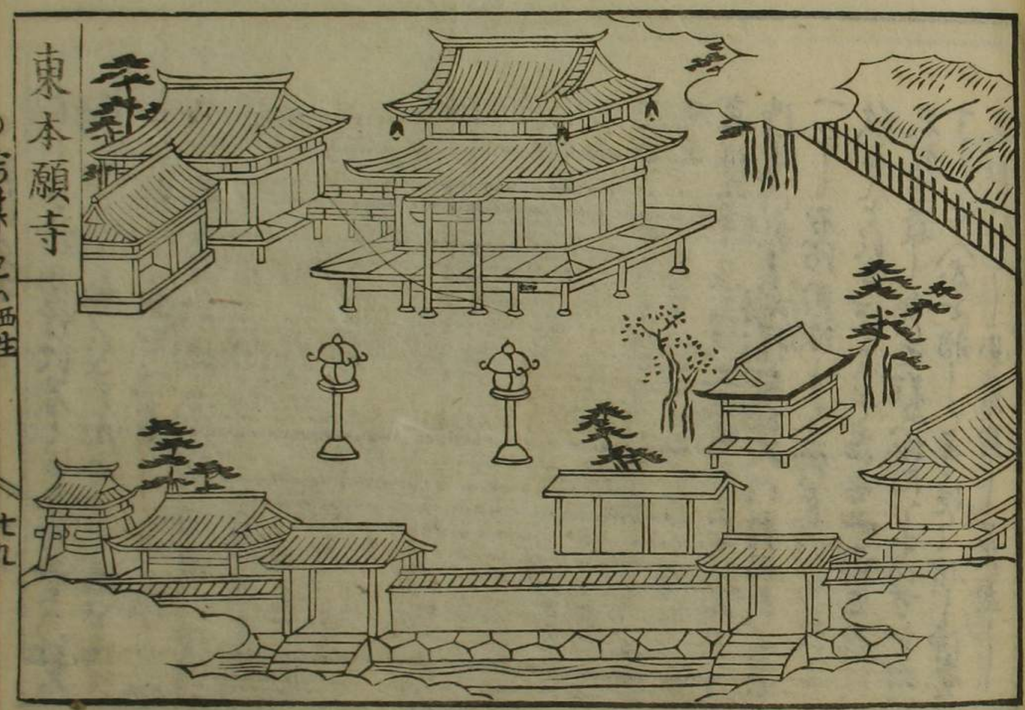
岡山より第八世蓮如上人
人王百六代 後土御門 七月下旬
乃れ山堂を建立せ
乃れ止住を
寺乃西堂
今乃
乃西方と

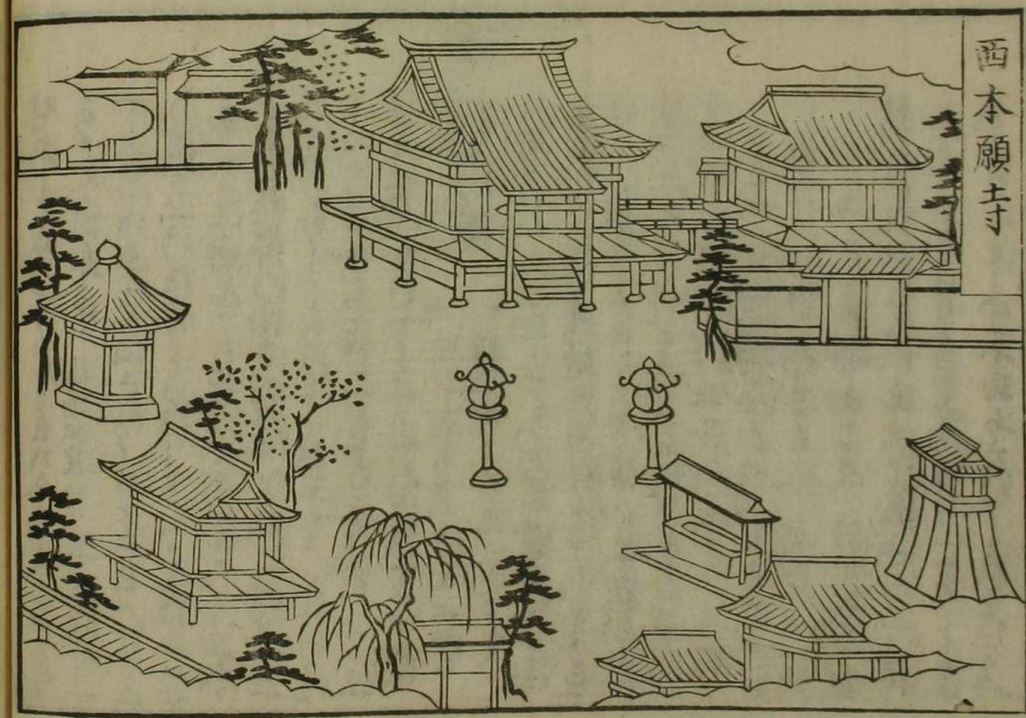
附乃
る文保年中
丁目小
八波
年中に
乃上
乃切
ゑ
張乃
乃井戸と云ハ今乃大坂口乃
地陽院乃字小乃院町一
堂と称され
乃れ坊と
乃れ堂と称され建立
乃地小乃れ堂と称され建立
乃勅願
乃解集て法
乃れ深く
演

津村御坊

西本願寺末小乃れ堂
仮後町乃本所まて

此岡山上人乃れ
乃ゑ
七年小岡山より十二世准如大僧正乃
建立乃れ坊と
十一世乃如上人乃れ
分一 光寿寺教如上人 東本願寺
分二 依願乃上人 奥正乃 祖
分三 光照准如上人 西本願寺 祖
御乃乃如上人此年又十歳中く文禄
元年乃月廿日小れ遷化乃事
芸也七年小東西乃れ


東本願寺


西本願寺

うち社地ハ[illegible]ハ[illegible]
昌月しふますくさんみくく西と称
表と称しあとハ裏と称すはこに
あか敷る乃双流ハ[illegible]
釋迦乃三尊[illegible]
中くまくせこ乃表[illegible]
知識と生れさせ[illegible]
されば蓮如上人乃[illegible]
右[illegible]
[illegible]小堅[illegible]年ぬりて佛堂たく地敬
ひさく[illegible]門せ[illegible]
[illegible]佛堂遍[illegible]て裏町後辺[illegible]
十間安左町ハ十乃[illegible]
[illegible]
[illegible]
享保九年辰三月[illegible]
佛堂佛[illegible]
一宇も[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]
佛堂[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

その外長乃浦・[illegible]・[illegible]・[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

福島

上福島 下福島とこゝあり

今の雲福の彩地にて福島川とかゝる
ゝり川毎年出水へ切て
漆のことし 京へ農夫の畑屋敷ありて
元禄の川普請の時
とゝりゝり山おろしの
ありちのさいはいの時
仮どこゝくふくし
けれいかゝらしてゝ
とゝゝしてゝ人ふ見
けいのうにもうゝ
実ふとゝあゝ

雲福彩地も福島へ
ます

高瀬川

高瀬川は高瀬の無二屋ふ
い橋ゝとゝゝ

野田

山ふの茶屋ゝ
野田村茶屋
乃名ふゝく
ふ
ゝ
ゝ
ゝ

[illegible]

波[illegible]

[illegible]

衛[illegible]

[illegible]

福[illegible]

[illegible]

邪[illegible]

[illegible]

難波橋

上下の難波ふかぎさいる
不詳いかなる名とも
山浦の所しるのあるさ
人のしるさしあるもえんば難波津ふるや
山部とうたしるし名所ふ
あるあしずこを名れ流今
下ふるこもん板人為
ふるべし

天満の橋

大ふ大形るの所ふ世りとてこの橋を云
あるしの橋いとうくあること浪浦後
まち
毎年ごとにられ流の
同
世中にあるこの橋ふ
難波ふのもしの橋もいるる今ハ絶ふ
いかなるもあるこ
方角抄ふ難波のかし橋
大江橋

淀屋橋

天満ふれ一ち淀川の
あく青の
乃市庭
乃おれ

比売津橋

六橋

淀屋の難波の浦の一橋名
大乃そしハ古人乃集
引ふ路
中業

中りの橋

芦辺の橋ふ
彩後橋
寛文六戊午年
摂津名所

堀江

仁徳天皇十一年の
小南あと引
号しあと日
淀村と云
万葉集
紅さの堀江の
江乃

大江岸

寄ふ
あるも
歌しと
時ハ
大江乃浦大江乃橋
彩後
乃ふ
乃
乃
乃

かあしす天和海を許さく之国ごへふかり
此大江乃岸にまつ子す浦ほハあれく
一代ハ一度つ〻修殿にこの殿ハ
そ〻へれそ〻ひ殿とそ〻へ殿ハ今
乃新浦あ〻ち山ハ〻そ〻ち
安天乃秋場所ハ〻ハ〻ハ〻
てを栖川と号せり海潮
乃安かあ〻ハ〻ハ〻乃
川そ〻く〻そ〻栖川しハ〻
もそ例ふ港せる船あ
岸船あれいそ〻ハ〻
浜名大江の岸ハやそ〻
尾張名所寅方ハ尾
遠江小国名ハ雑賀船
小松浦　芦乃　拾ハ
泥　ちかとつを漁り　新物撰　置船東入
大伴のそ〻ハ浜の松ハ〻ハ抗ハ殿ハ殿ハ　芦名
秋野そ〻浜　港の国乃秋の〻浜
ハ〻れ貝　ハ〻を貝
三津乃浜　月浦
岸津　名津　昆ハ三津とハ〻
又仁徳天皇乃天伝り伝せ〻ふ泥ハ

櫻乃そ〻り
櫻のそ〻り
ゆ〻ちとちりそ〻ハ〻
ゆ〻ちとちりそ〻ハ〻
ゆ〻ちとちりそ〻ハ〻

三津

雑波津　多津　安津　毛と合くて三津し

云と形ん

三河の里

浦　泊　漁　和布　海

昔代小波や三代宮風吹うさ雲長と寄りし三河の里へ入遠張

三河乃松原

大波の三河乃松原と詠り

漁　浦　磯　泊　堀江　和布

玉垣乃三河の漁とつくもり

三河乃漁

和布浦の岩ろ

三河の浦ゆ和布

三津乃磯

和布　雑波　雑波の磯の双漁

あしい漁

小石　橋　泊

雑波乃漁

出和布ゆ汎を

去等乃沼

雑波沼

雑波沼うなき芦のあ

和布浦ゆ出り

大江乃浦

おもかう大江乃うらとまり

大坂　同　橋　泊

加治

多沼乃海

大坂ゆ二里半ゆ有り

貝橋ゆ上ろう　漁のゆ松

△川辺郡神社仏閣名所

奥村大明神　多田院村より二里わん

西畝聖村ゆあり

平聖大明神　右ゆ十丁西ゆ

刑平聖法なり

天王宮　牛頭天王　聖宮と天王宮と称す　仲丹町　社僧　金剛院

額を朱及座象

吉佐大臣宮

なり神　楽ち村ゆ　川辺郡尼崎ゆ七十ゆ

海陽れ昊八所乃村ゆあり吉佐ゆ乃昊を

天皇昊亀二年ゆ　所乃因ゆ也祭まり元正

夷徒と云くく二十三家安倍仲丸十六

紫二八古に学文乃乃遺庵使ゆ紀

く入庵し聖武帝乃天平七年ゆ

吸彩と立庵世年ゆ　称連帝乃天

平神護二年ゆ右大臣とす此人藤

入庵し博学乃誉を上うて仕て微

綾し登庸ちく大臣ゆ光仁

帝乃寛亀二年三月ゆ右大臣吉佐ゆ

彼仕と同六年十月吉佐公薨を年八十

二歳とちく成ゆ神紀ゆ考

若宮

蓮華山海平寺

と称するも尾張ふるし

嶽山

大坂より四里北伊丹より北三町西

聖武天皇天平元年

昇陽寺

聖武帝の御願所にして開基

小蓮花列河を祀る

行基菩薩建立なり又曰く

行基の始祖百濟王の後裔なり

泉州天高郡の人天智天皇七年に生

十八にして出家す法師小船にして

く是備せり乃ち伽藍を

構へけるに

とさ河さ行基乃ち刹海と勅のつり二年

又年に高地精舎と名づく

業師の像並に十一面観音及び梵釈

二天の像を作り安置し和銅元年天皇大

志を守り百五歳にして

薩を修す名く嶽山昇陽寺と号

行基菩提地を開く荘田を

百石を収くる産寺

と称すとあるに天正年中に

かりて焼失

と様へ伝る

鷹尾山多田院

川尻

別当奈良

西大寺

知行

當院は摂津国源満仲公の創建也

本朝六十四代条融帝天禄元年に建

源賢僧都にて住山

満仲の世の初とする清和天皇の孫王経基

清和天皇　貞純親王　六孫王経基　多田満仲

延喜十二年壬申四月十日に誕生し年北

四の間始く源姓と賜る源家の統祖

多田脇者貞元二年に六十六歳にて剃髪

法諱満慶と号　続元伝一説元伝三

年に八十六歳にて病に疾に深て

住居を付て云書遺

当院に隆廟もべし

神になり弓箭の道を擁護もべし

を願とのたまへり吾云

云年に安禅寺にて

住く高山に隆を

を整治むべし

時として奇あり

るとは所霊鷲

へ申と天下の安泰を

祈

を授恵性美菩薩と院号を称して乃ち
中興と百四代後云ふ門主幸文明四年
八月十七日菅原朝長在数と勅使として
て綸旨二位と院宣を揚げ夷陽の夷陽をも
うとろうんちく完文年中に大将軍
ろ二度に命じて再興きしく
天門伝図荘厳寺銘を作せられ
又濃仲乃新あり[illegible]
と云し然るを示これ其旧家の[illegible]
造るあり[illegible]と如殿を安置する[illegible]光
教伝教慈恵[illegible]
万代守護[illegible]宮と号す[illegible]
如記ありとぞん[illegible]

清光寺

摂列河名[illegible]

補陀洛山清光寺と号す[illegible]
種金[illegible]寸八分乃観世音菩薩
如釈迦十三年[illegible]和帝天長年中に弘法
大師開基乃ち[illegible]大師[illegible]
海と云人大悲乃[illegible]と[illegible]
て敬光大悲乃金像を如く大[illegible]
小庵にとゝまりこれ[illegible]
勅命[illegible]恵海[illegible]数十年[illegible]

[illegible]
師は地[illegible]
とかんぐ[illegible]
記低く補陀洛山清光[illegible]
[illegible]
[illegible]
しくそ[illegible]
保乃比[illegible]
造しめ[illegible]
る[illegible]天[illegible]七年[illegible]
あり[illegible]
て[illegible]
乃[illegible]
小宇と[illegible]
[illegible]
[illegible]

風祭にもちゆく竹木あり つくり物とも
る花とこれを薩埵の像の ゆくえも
しらず 歌にきこゆ 真言三年西
寅の春性海愛の西国廿三所の観音
と作れり 故像金光とあり
とあり 愛光ぬ性海 愛の
中の一の仏士 三所の観音と
那中の三十三所の観音と
村民 里俗の男女 仏
浄光 紙幡 仏
ふこんとい 士
末世 仏
和 仏
山院 ゆ
乃大悲の像 縁起
光 仏
浄光 紙幡
西和 村民
と 村民
しやくの像 薩陀山
家師 観院 仏

大光寺

月峯山大光寺と号す 真言宗 寺領 田代推古
天皇八年 達磨 建立
後醍醐 月峯
金ろこの光 これ
日蓮 これ
他り 食 一神
これ 月峯 又 一神
一寺 達 これ
古へ 弘 殿閣七堂 伽藍
義慶 今
大門 仏像 観音殿 薬師堂
大明神 社 村民 これ
守 布 仏
古 仏 仏

法蓮寺

蓬莱山法蓮寺と号す 真言宗 小名

及天皇宮年六年ふ此新沢開祖薬師
佛弘法命の寺師なるハ如来の三佛と
佛三宮弘法弘乃仏彫り寛平元年ふ月廿
四日白玉石と天皇と同霊ふ同宮へ三蔵じ
金堂を作り三体彫り右の方ハ三山弥陀
常ふ山ふ右ふ仏法僧ふ饒の夏匠彫り
ましたに観ゝと虎ふ表べ一とし鹿ふ薬師
と猿利一ふふふ三体の二ふる〻三山い善
福乃三尊ゝと弥一ふ寛平六年の四年一まく
と興都一ふて寛平六年の四年一まく
仏と加一丈六乃三大像と仏ゝ世尊像紙
版内ふ納めふ弘法殿門法ふ七堂ふ安
彫り亟に大仏師と成同八年十月廿八日
仏菩薩ふ三尊伝彫ふと等師とすちのち
慈心房善恵上人へ比ちに住り財ハ影安
二年十二月廿二日辛ふ絵入一く七月覚恵
ふいるちく義生一ふ闘主乃此紀文ふを
大月ふ四三十七所住生浄土乃梵刹ハ
法院ちそれ一たり法ちに来永二年ふ源
平乃寛安ふ切ゝ書く東く庚燈とふ
と大将軍源乃頼朝ふ表連と少
一たく上ふ蒙一勅ふ

再興しまつり仏日あらしこふりて
灵験顕然さんこの三奥義神とあがめて
崇敬すること殊に隆盛のごとくなりしに世人
これを称して荒神乃宮といへり 清荒神社 播磨国加古郡

紫雲山中山寺

人皇三十二代用明天皇二年聖徳太子
草創なるいと尊き霊場なり 本尊十一面観音 脇仏
しかるに中古衰微せしを三條と安堂寺
播磨の造る所なり 開基孔雀明王 開山恵聡恵便
時ちかりく 後白河法皇の恵聡恵便
乃二僧を延く 不住せしめ給ふ
天正乃頃に兵火にかかりあるの殿堂伽
全くとくく焼失 本尊 十一面観音
と云るる 後再興して今の地に移す
を下ふ河ふるとをいふ 恵日菴奥本堂 智竜比丘建
多の河ありといへり 摂州河辺郡名田庄

神秀山満願寺

人皇四十代 聖武天皇神亀年中 建
開基 勝道法師 摂州河辺郡名田庄
いにしへ此寺 本尊千手観音 長五寸
仏像 彫刻 [illegible] 作
[illegible] 法師 [illegible] 天平 [illegible] 時 三尊 [illegible]
と云八条 [illegible] 持 [illegible] 夫人 [illegible] 中 [illegible] 外 [illegible]
三尊 [illegible] 信中 [illegible] 奥院 [illegible]
二金剛 大殿 [illegible] 観音
法華堂 [illegible] 常行堂 [illegible]
仏或 [illegible] 大士 [illegible] 廃
[illegible] 帝 [illegible]
時度 [illegible] 法親王 [illegible]
[illegible] 氏 [illegible]
[illegible] 奥 [illegible] 一院 [illegible]
[illegible] 安 [illegible] 中 [illegible]
[illegible] 侵 [illegible]
[illegible] 泉 [illegible]
時 [illegible]

普照寺

採列河内名所図会

豊村にあり　慈光山普照寺と号す
清和天皇の玄孫　多田満仲公の建
法師の開基なるよし　満仲公の法名
乃ち慈照院と云へり　後満仲
紀れた病ありて出家し
精舎を建て
地中にこれを植く　今ふる
中堂に弘基接化阿弥陀仏
此乃傷ひい玄日神仏
安寺　遂に八仏菩薩
を彫刻
中に新しく再興ありて天
物ある愛宕国師
を開き一唐孫師中興祖として天
物ある乃流下とあり今い再興法永澤
ちれ末院六ヶ所乃景福ちに属を
寺乃神奥に多ばあり
庫保四年乃冬法仲公熊野山に入
て拾獲しふを乃愛に美
に有り告く云奥ひ
乃法に大地ありこれ物なし山門下

年あり今年に物語
れ地を遍歴し物語
物語一頭を引く
れば物語かくれ
に喜びれ
海内とこれけ
を孫満伝に
寺に神のごとし
長安東仲光
惟を
堂と号せり
院文治二年三月十八日
より
時乃
光基に
れば紙に
る有出現せり
刹ち拾ひ
と名付て

最上ちる

西獻聖村にあり

幸寿丸石塔

右同所　但波郡

多田院
満仲
満仲
満仲

深谷山蓮華寺　三田より二里ばかり

棚瀬村にあり

小屋池　長陽寺より八町東行基の加持水有　方角　云宿より西の尾ノ方と三ツ

たの田の宿より西の尾ノ方と三ツ

蛙　杜の内　蛍　あり　発　鴨　鷺

あり　ささひ　ささき　松　赤松

あるなり　蛍　赤松　信濃長英

蛙　蛍　蛙　蛍　蛍　蛍

こやの野　里

こやの滝　たかさ三丈ばかり　松虫

こやの滝　たかさ三丈ばかり　松虫

こやの松原　池　蛍　いなかの　赤松

こやの松原　こやの松原　赤松

こやの滝　赤松

こやの野　赤松

あるの野　赤松

川たかさ三丈ばかり　赤松　赤松

鳴き　蛍　蛙　蛍　蛍　蛍

蛍　蛍　蛍　蛍　蛍

蛍　蛍　蛍　蛍　蛍

蛍　蛍

雑波人　わ〜ぢ〜や　ちゃも　雑大　海界
　　　

[illegible]

[illegible]

[illegible]

古懐と申し引導作業しかとこと

圓喜屋敷

方ふかくうち七松村乃ふかあり乃ふかあり乃ふかあり

又云 五座乃祝わり所謂
一殿住吉　二殿廣田 天照大神 荒魂　三殿八幡
四殿南宮 大山咋　五殿八祖神 高皇産霊尊

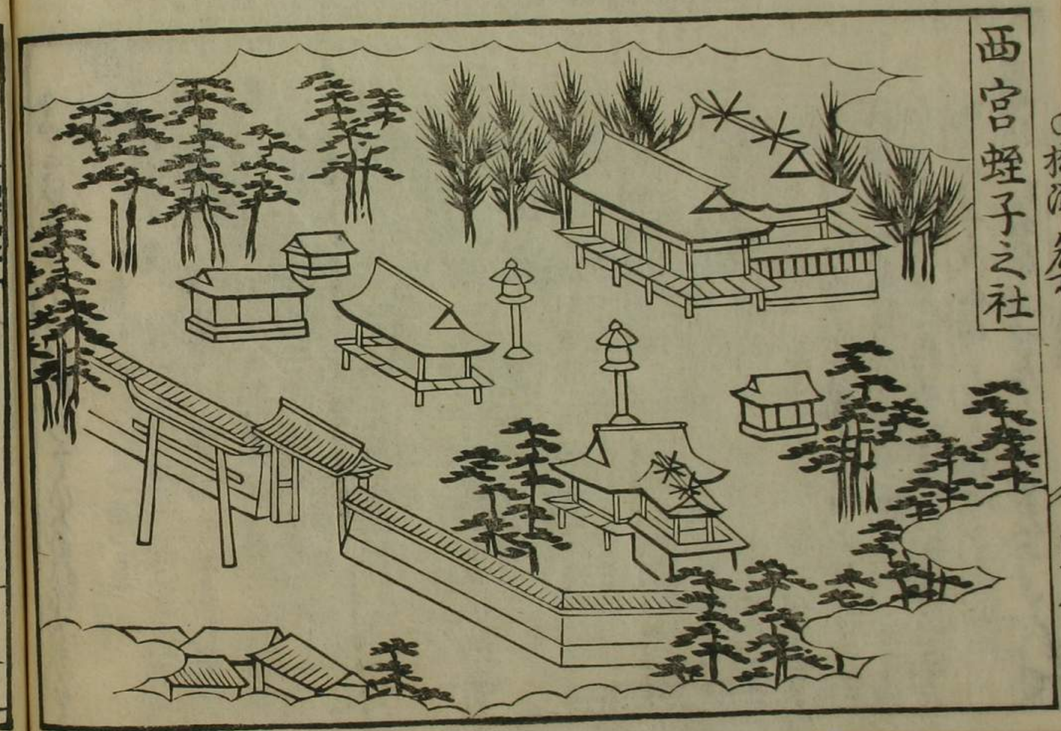
▲神功皇后征新羅ハ時の事 紀 起
蛭兒住吉皇后聞しめ遠勢古水門のトス
しめ給ひ天照大神梅しし云 紀 恐
不可近宣后當居沖心廣田國 日本紀
能姫おとめ女業 山嬢 今案 日本紀
廣田者天照大神之荒魂也 可謂神夫
御門神 二社注式

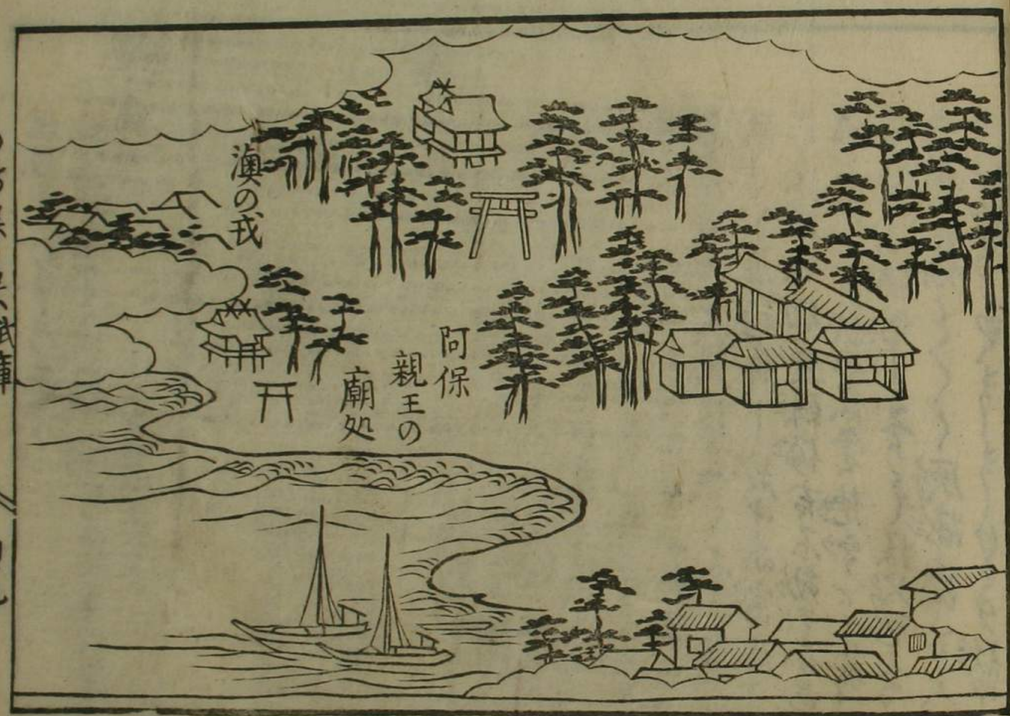
▲注進紀云 人皇百一代後小松院応永三年
應永十三年四月四日甲子神祇伯二位資
忠王依招也日本紀等九曜合廣田社事
条々有不審能為神祇伯 紀 書紀演説云
如社官中 相者 奉書廣田社 神切
皇后也自然 神社 得 紀 立社 地名
太しかし 若叢 ハ廣田尾皇后 心得紀
不合日本書紀等之旨

▲御位　真観元年正月廿七日 三位
熟八等廣田神正三位　神階紀
真観十二年十月六日 一位　神名帳注
當社どしあら 彩 張古 今案 たお 設本
名之於天 初 陰神 先 殺 赤 ハ 廣 日上
之 日本紀 此神 雖 巳 三 風 御 猶 不 立 故 載
陰神 先 殺 赤 ハ 廣 日上
今 生 蛭 児
右相殺二座 ハ 廣 日上 廿二社注式

△摂社　名次社　姫津社
廣田社　須佐社　沖夫社 西宮辰巳ノ田中ニアリ

神式神ハ右ハ紀ハ 雖 巳 三 風 御 猶 不 立 故 載
ハ天照大神乃


西宮蛭子之社


阿保
親王の
廟処
澳の戎

又源しのぶ乃ものよ
[illegible]海ふ[illegible]
琴ノ浦明神　　赤彩田村ふわり
祭神　駿大臣乃霊なりとそ
おうし乃文　　神記未考
阿保親王まします廟所　　打出村ふふ
[illegible]乃勝なり建武年中ふ
[illegible]山越ふ出陣の絵

摩尼山大龍寺

ちなみ十石
摩耶山乃西ふる

[illegible]と駆山と号とく人を軍八代孫源帝
乃山宇神護景雲二年亜相和気清
麻呂勅願ふ由なく仏菩薩ふ基ゆ一刀三
礼乃如ふ海釈自ら乃像とゆく開基
建立しまつり大同年中ふ弘法大師
ふ[illegible]乃像を
[illegible]く大士乃像と
[illegible]岩中ふ寓居
[illegible]く孫[illegible]孫勤曼殊[illegible]海法不動[illegible]
像と[illegible]ふ依霊[illegible]
て天ふ福[illegible]
[illegible]乃像とくく
士乃[illegible]

乃音[illegible]
[illegible]ふ様しむ釈迦二年ふ刺史和松
[illegible]志和と[illegible]
[illegible]ふ田四[illegible]と[illegible]
みと入る中興乃祖ふ[illegible]
永和乃[illegible]
と[illegible]
[illegible]ふ[illegible]
[illegible]ふ[illegible]
[illegible]ふ

乃流下かり給師大小法師とゝゞろうす
を法名日峯禅尼尾州大山小能く
瑞泉寺建立時師と為して能く開山の
祖と勧め給年海清寺に於て
寛永十七年六月四日小示寂を世寿
八十又嵩幻ちる中小まを能とゝ丸門
紫野函涯義日峯春夫等ゝの一方
乃尊師かり

摩尼山

人皇五十三代清和天皇乃
時ゝ天長五年堅妃如云尾乃開基建立
仕かる如云梅紀音弘法大師 楊樹と
いく后妃乃為尊とゝて造し
如云尾い冊列 余作紀乃人かり十峯附
云師小入常小如云梅紀ゝ乃夏頃
法るゝまゝで薩埵乃司 法門
いまゝ佐小まゝすゝ附夏小ゝて
約束と頂法るゝ后云ゝ常小如
次妃乃り成小寄儀増兼ゝ常小如
云梅乃以と拝して代繁すわる秋云戈
天女乃面貌と為り天水又年二月十八日乃
秋二女と志ゝへ潔ゝ云と出ゝく按列武彦
山如云梅摩尼峯小のがりゝ入り又度

因縁乃奥殿ゝ乃ゝ武和ゝ乃ゝ場と
ゝ乃ゝ寺欲ゝ色ゝ乃ゝく后云ゝ
ゝ乃ゝ乃ゝ出ゝ乃ゝ云ゝ乃ゝ
ゝ乃ゝ乃ゝ乃ゝ乃ゝ乃

玄尼面の如玄猫咒とゝなへ跪坐
合掌まゝく遷化とゝくの
▲ 此紀行く一乃秘蹟と
迦とゝくゝ天長二年大ふん
破せ一村寺敏と玄海とゝぶひふわゝそ
ひく法験と玄海紀乃秘蹟と
急法と修せ一ゝべ沢天下ふわまく
百姓一村ふるひと玄海ふ蹟ふ
冊列乃月間ふあ乃に乃浦修ゞとふ
りれゝく紀ゝり数百年ふお蓬莱乃
紀御ふ入天長二年ふ故里ふ修り紀ふ
此蹟とあゝくゝゝれ玄海中玄蹟といふ
とゝゝり玄海林乃如玄猫と刻村
如玄尼蹟と修れ中ふ納むやゝゝ

鎮り林寺

ゝゝゝゝふ青神切里后彩屋と紀一帳
乃根千度宝珠乃び金甲鉄曽弓弟宝
物軍衣等と埋ませう故ふ武庫と云
又六甲山大称す根ふ物屋と云一改
如玄猫摩尼峯と号す鎮る林ちん
摩尼山神咒ちゝ国猫同一なゝゝゝふ
弘法大師如玄尼乃ゝゝ乃紀

ませゝふ猫乃紀林と此ゝ
紀者と造り安亜と渡和天里の里
紀如玄尼大師已小世紀摩尼峯小逃
是弘法大師と戒師とゝく紀宝雲
宇と新建一玄猫乃かゝ玄かゝこのゝく
逃ゝ世ゝふ和に尚宝屋小魔魅えて渡
鎮と紀一成ふ黒雲大猫と無一雲ゝ
金剛と猫玄一如玄乃猫法と行紀せん
とゝく玄猫ゝ乃陳猫とあゝゝすゝ玄紀
無礼神と此り如玄尼降法を大師ふ向
大師とゝかゝり祈法と玄ゝとゝ山神と鎮
法ゝり祈ゝ鎮ゝ尼無礼神乃祈紀紀
て法ゝる仏鎮神とゝ号して鎮る林ちん
玄宿判ゝりく数百年ゝゝゝゝ乃ち
焼ゝり一天長七年玄尼小尼せゝん
くゝとゝくゝ玄とゝり平ぬ紀
猫ひべ一ゝ紀玄ゝ河るゝざゝゝくわ
せゝゝく今ゝゝゝて紀ゝまゝゝゝかゝゝ乃
の乃ゝ玄ゝゝく流ゝゝゝと紀ゝゝ
ゝゝゝゝゝ紀ゝゝゝ紀乃藏ゝゝゝ
ゝゝ村民ゝゝゝゝゝゝゝ玄ゝゝ如

平林寺

小林村三五 玄猫 神鎮 ゝゝゝ共一西

千頭山護國寺

人皇五十代桓武天皇延暦二年小建立開山
大徹禪師なる地蔵菩薩 天徹自作
禪師名いかゝ今こゝ称す又隅國の人なり俗
とゝてこゝ出家し總持寺の末山隅和尚
小梅しく乃門に整入給はす康暦二年小武
ゐて剃髮し自ら地蔵菩薩を彫生ぎこゝ厳
小安寺して護國寺と称す又鐘中の寺山
小安り三川寺成建繕ぎく寺門ちなくく
ゐく三ケ寺ち孔雀社なり始之川寺に生
藏乃時神ゐこゝ禪師みこゝ神祭戒をこゝ
附し寺こゝ剃髮山小乃ゐこゝ神い三山
持現寺くましくさこゝ勅小ゐて下野
小ゐり殺生石乃毒精を示義し妖害
を一枝下小所上昭ひ下やこゝ山名
寺名野小海ひこゝ總持寺に移り藏
山師小海付こゝり獨疾をけく寺殺
小ゐひたゐ乃所の話こゝ殺ゐて乃ち
彫像ゐをこゝるべゐ殺生石乃地蔵獨
國ちにを剃 殺幻宮ゐりとめこゝ寺院
頭を書をゐり寺永十二年四月廿五日寺
秋七十六歳ゐく延記しこゝり

信蓮寺

一里塚寺乃方小ゐる武庫山小ゐる西寺より
武庫山小ゐる西寺より

延平寺

二里餘寺乃方小ゐる

釈迦堂

観音堂

武庫乃山

むこ川 越三郡名所記 岩
むこ山稲と猪り むこ山乃くゐ 山乃くゐ 山小ゐ多林ゐる
所小来貞を志ゐる せり 寺名 弘法寺 林
岩乃岩乃 むこの山川 浦 浦小ゐ浦の所ゐを
海 海 あやの沖 沖 後名 難波日
山と海と 方角 砂小ゐを
川小ゐ山 川乃 西小ゐのうちくゐ
後名乃 名所小後名ゐる 寺名ゐる
青時ゐる むこ川 むこ海月 ゐる
むこ川 武庫山乃中腹を六甲
六甲山 林 児寺 本名如意輪
山と云 武庫 林切皇后天敏遠治の
腹甲 貴 六具山 山小 山小ゐ
より山乃名 山小ゐ
武庫川 大河
むこ川山川 武庫の川
寺名 かゝよる 寺乃 名乃

浦 山 糸和 海 浦 洲 波

武庫川ハ尾崎より北十二町の方に高山

武庫村

武庫が崎

武庫乃浦

武庫洲

小松が崎

尾崎より一里餘西に

二ツ式ハ武庫村にて此所に新小松崎乃名有

同沖

鳴尾が崎

糸和 松 沖 芦 高山 桂天満宮

方角枡ハ雑賀ハ和歌山

右同所

鳴尾浦

右同 新熊野権現一社 西方法師

常ちも鳴尾ハ松原と記す多

鳴尾乃濱

鳴尾の洲 右ハ出す糸和名

ちゝ記ハ西方乃種子也 実ハ

鳴尾海 同沖 同洲

角松原

右ハ仮名ハ武庫郡

吾妹山

吾妹ハ

沖原 庚田

仮吉乃沖

漁ハ

沖原乃瀬

沖原乃瀬

沖原乃瀬

ゆい山南の海しゆ張あると云家もり西天ハ
あるゝ水張あるとうち出い坤ゝ南ゝ張云
庚へくゝうに海あるに出るゝ〜めゝ十三丁
名石ゆ田居あり山ゆどゝきれい着れ松ゆ
とゝり

庚田渡

りくゝあり　此前渡　此橋のそゝま　弁慶　名　松　弁
去河の渡とゝくゝゝ　弁慶の庚弁渡ゆ降る白雪
人ゝゝゝ氣とい雪ゝ弁慶の庚弁渡ゆ降る白雪
雪